



小・中連携教育の取り組み

小学校から中学校へのスムーズな進学をねらいとして、市内すべての中学校区で小学校と中学校が連携した教育を推進しています。行事などを活用して小学生と中学生が交流を深めたり、中学校の先生による授業を小学生が体験したりする取り組みなどを、それぞれの地区の実態に応じて展開しています。

入間川地区では、入間川中学校バスケットボール部の生徒がミニバスケットボール大会を控えた小学6年生の手ほどきをしたり、夏休みには、水泳部の生徒が泳ぎの苦手な小学生にコツを教えたりする取り組みがあり、参加した子どもたちの表情には笑顔が満ちあふれていました。



ミニバス大会の練習



夏休みの水泳指導

ふれあい体験広場を開催

10月27日(土)、入間野小学校で、学校・家庭・地域が連携し、体験活動を通じて児童に地域のよさを知ってもらうことを目的に「ふれあい体験広場」を行いました。

当日は、自治会や民生児童委員、おやじの会、公民館サークルなどによるマジック教室や地域農業クイズ、ウクレレ体験、入曾の獅子舞、おいしいお茶の入れ方教室など、楽しさあふれる16のブースが用意されました。



子ども達は、ふだんできない学習や昔遊び、伝統芸能などを多くの地域の方たちと体験しました。

長座体前屈は息を吐きながら…

10月27日(土)／体力テスト会・ニュースポーツ体験(市民総合体育館)

握力や上体起こしなどの記録から体力を総合的に判断する体力テスト。評価をグラフにすると、日ごろの運動不足や運動のバランスが見えてきました。



仲間とおしゃべりも楽しみの一つ

10月23日(火)／シニア・エンジョイスports大会(柏原河川敷公園)



グラウンドゴルフ

約500名の参加者が、3日間の日程でグラウンドゴルフやベタンクなどを楽しみました。それぞれのプレーに、「よし!」「惜しい」と仲間も一喜一憂でした。

狭山の今昔物語

Vol.19

—市民会館—

市にとって長年の夢だった総合文化施設「市民会館」は、昭和54年11月10日に「市制施行25周年・市民会館落成記念式典」でオープンしました。開館記念のこけら落としとしては、当時の町田佐一市長が力強く一番太鼓を打ち、それから18日までの約1週間にわたって記念行事が繰り広げられました。



延べ床面積約1万3000㎡、総工費約24億6千万円で完成(昭和54年)



芸術文化、学習活動の拠点として、ますます存在意義が高まっています

入間川を舞台に灯と音楽とグルメの祭典

10月14日(日)／灯の川2012(入間川河川敷)

4回目となる今年のテーマは「みんなでつなぐ、心のともしび」。入間川の水源林の間伐材を利用した「森のろうそく」や入間川七夕まつりの竹を利用した「竹のろうそく」に火をともし、環境共生に思いを寄せながら、音楽と食を楽しみました。



「森のろうそく」の点火権の収益の一部をみどりの基金に寄付



和太鼓やさまざまなジャンルのミュージシャンの演奏に会場が沸きました

地元自治会や市民団体の皆さんが、おいしい食事で来場者を迎えました



狭山の商工業の底力を実感

10月28日(日)／商工祭&交通安全フェア(狭山稲荷山公園)

時折、大粒の雨が降る中、恒例のイベントが開催されました。市内商工業者による物販や模擬店のほか、キャラクターショーや大抽選会、そして、今年は「マグロの解体ショー」も復活するなど、趣向を凝らした催し物の数々に、どのエリアも大にぎわいでした。



65.4kgのメバチマグロを鮮やかな包丁さばきで解体

ひとまち写真館

あなたが写っていませんか? 広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

ユーモラスなかかしが笑顔誘いました

10月28日(日)～11月4日(日)／奥富かかしまつり(奥富地区)

初日はあいにくの雨模様でしたが、この日を楽しみにしていた多くの皆さんが会場を訪れました。稲穂の収穫を終えた田園地帯には、今年を象徴するスカイツリーやオリンピックなどをモチーフにしたかかしが登場し、来場者の目を楽しませていました。



今年も60点を超える力作が登場!

元気いっぱい! ちびっ子チアリーダー誕生

10月17日(水)／チアリーディングを体験しよう(広瀬児童館)

初めての試みとして行われた「チアリーディングを体験しよう」に、20名の親子が参加しました。チアリーディングの動きを取り入れたリズム遊びに子ども達は大喜びで、先生の掛け声に合わせてリズムよくポンポンを動かしポーズを決めていました。



シャッターチャンス! 満面の笑みを写真に残しました